



左から植田さん、遠藤さん、高久会長

平成27年度新得町子ども会連絡協議会が募集した「あいさつ標語」の最優秀賞が決まり、12月22日に新得小学校で表彰式が行われ、最優秀賞の遠藤和々さんと優秀賞の植田ゆらさんに表彰状と図書カードが手渡されました。

今年からテーマを設定し、今年「声」がテーマ。遠藤さんは「声出せばみんなにひろがるうれしいな」、植田さんは「声出して私もあなたも気持ちよく」という標語を書き上げました。

他の優秀賞受賞者は次のとおり。愛澤豊季（富村牛小1年）、伊藤瑞姫（屈足南小3年）、今村拓人（新得小6年）、伊藤寿々日（新得中1年）、佐藤美睦（屈足中3年）



西十勝スポーツ少年団交流会が12月5日、町民体育館で開かれ、鹿追、清水、芽室、新得の団員100人が交流しました。

今回は、「玉入れ」と「転がしドッチ」を開催。4町の団員混合で8チームに分かれて競いました。「玉入れ」は、100個の玉を全部力ゴに入れるまでの速さ、「転がしドッチ」では、大小2つのボールを利用し、何人にぶつけられるかを競い、団員らは楽しそうに競技を行っていました。



親子ふれあいもちつき大会が12月13日、町公民館ふれあいホールで開かれ、親子連れなど175人が参加しました。

親子の交流と、伝統的な餅つきを子ども達に伝えようと毎年開催されており、新得警察署、町子ども連絡協議会、中小企業家同友会、新得地区会が協力して行われました。

子ども達は掛け声に合わせて一生懸命にきねを振り下ろし、つきあがったお餅は子ども達で丸め、きな粉餅やあんこ餅、雑煮など5種類に調理され、参加者はおいしそうに餅を頬張っていました。



新得保育所の4歳〜5歳の園児30人が12月16日、祖父母へ宛てた年賀状を投函するため、新得郵便局（又原一局長）を訪れました。

園児達は思い思いに描いた年賀状を一人一人投函。園児達が「よろしくお願いします」と言うと、又原局長は、「みなさんから預かった年賀状は、1月1日にしっかりとおいちちゃん、あばあちゃんに届けます」と約束していました。

どんな年賀状があいちゃん、あばあちゃんに届くのか楽しみですね。

声出せばみんなにひろがるうれしいな あいさつ標語表彰

2つの競技で楽しく交流 西十勝スポーツ少年団交流会

親子で仲良く、元気にもちつき 親子ふれあいもちつき大会

おじいちゃん、おばあちゃんへ 保育所園児が年賀状を投函



講演を行った井元係長（右）と伊達課長（左）

高齢者を対象とした歳末警戒研修会（町社会福祉協議会、町老人クラブ連合会、町共同募金委員会主催）が12月16日、保健福祉センターなごみで開かれ、約70人が参加しました。

新得警察署の交通課長伊達辰幸さんから「冬の交通事故防止、生活安全係長の井元健一さんから「詐欺などの犯罪予防」をテーマに講演いただきました。

「ちょっとした油断が命取り」と伊達さんは話し、「お金の相談があったら一人で悩まずに警察や近所の方に相談してほしい」と呼びかけていました。



講演を行った荒井さん

平成27年度まちづくり講演会が12月18日、『日本ハムファイターズから北海道日本ハムファイターズへ』と題し町公民館で行われ、町民約40人が参加しました。

講師として、株式会社北海道日本ハムファイターズ事業統括本部長 コミュニティリレーション部 コミュニティグループ長の荒井昭吾さんを招き、講演いただきました。

荒井さんは、1991年に日本ハムファイターズに入団し、9年間プレーした後、1999年に現役を引退した元プロ野球選手でもあります。

球団を変えるために『地域社会の皆さまに夢や感動を与えられるプレー』を意識させ、チームの改革を行ったこと、会社の活動指針があります。



野球少年への指導も

として『ファンサービスファースト（全ての活動にファンサービスを優先する）』を掲げていることなどを話され、地域住民やファンを大切にしていくことが大切です。

「選手としての話は、お客さんが育てる、強くなる」と荒井さんは話し、「日本ハムファイターズは北海道のものでしょと言われるように努力していく」と決意も語ってくれました。

また、参加者の野球少年団の小学生に「体を柔らかくすることがプロになるには大切」と話し、ストレッチの仕方を指導する場面もありました。

講演後には、ファイターズのグッズが当たる抽選会も行われ、タオルやサイン入りのボールなどがプレゼントされました。

大谷選手のグループや中田選手のバッドもあり、参加者はバッドを振ったり、写真撮影をするなどしていました。



受賞した佐々木さんと門野くん（写真左から）

新得中の2人が受賞
中学生「税についての作文」

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が主催する第49回（平成27年度）中学生の税についての作文コンクールが行われ、新得中学校の2人の生徒が受賞しました。

新得町では中学3年生の社会の授業で税について学び、その一環として毎年このコンクールへ応募しています。

【帯広地区納税貯蓄組合連合会会長 賞】
「わたしたちの税」 佐々木妃那
【新得町長賞】
「これからの税」 門野春佑